

研究課題番号	4-1702
研究課題名	希少植物の自生地復元に向けた問題解決と基盤整備
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	125,865 千円
研究機関名	京都大学
研究代表者名	瀬戸口 浩彰

## 1. 評価者の指摘及び提言概要

小笠原の希少植物の域内保全の研究として、ESU（進化的重要単位）や MU（管理単位）など生育集団の遺伝的構成が明らかにされたこと、多種多様な機能を持つ真菌が検出されたことなど、サブテーマごとに重要かつ学問的に意義のある成果が得られている。一方、域外保全については自生地に近い環境・地域が望ましいが、その達成の見通しは部分的にしかな実現しておらず、再導入やその管理というプロセスについては困難性の打破には至っていない。また、野生地復元と野生復帰という大きな目的には道が遠い。今後、生育適地解析の総括とそれに基づく具体的なマネジメントの提案、実施を踏まえた検証等の研究展開を期待するとともに、実効性を担保する行政施策の提言を期待したい。

## 2. 評点

総合評点：A